



YAMAUCHI Hoshiko

## 山内 星子 氏

## 【Profile】

2006年3月 教育学部人間発達科学科卒業。

2011年3月 教育発達科学研究科 博士課程後期課程修了。

名古屋大学 学生相談総合センター 特任助教。

高校時代、他者の悩みに応える臨床心理士の仕事に興味を持ち、名古屋大学教育学部に入学しました。心理学を学び、研究への関心の高まりから大学院へと進学し、博士号を得ました。

2012年取材

### 学部・大学院ではどんなことを学びましたか？

学部では、心理学を基礎から学びました。心のメカニズムを学ぶと、日頃感じていたことが理論立てて理解できるようになって、すごく面白かったです。さらに、そうした理論や知識がどうやって導き出され、臨床現場でどう活かされているのかも知ることができました。その中で、「自分も臨床現場で役立つ研究がしたい」との想いに駆られ、大学院まで進み、臨床心理士としてのスキルアップと研究の両方に力をいれてきました。

研究テーマは、「性格の個人差における親の性格の影響」です。幼児から大学生までを調査対象にして、親子間の性格の影響が子どもの親への評価に左右されることを明らかにしました。

### 学部・大学院での学びで一番印象深かったことを教えてください。

私は、臨床と研究を両立させながら、新たな知見を見出すことを心がけています。この働き方は、指導教員から学んだものです。研究に興味を持ちつつも、もとは臨床現場を志望していた私にとって、指導教員が一番のお手本になる存在でした。今後もカウンセラーとして、臨床現場に関わりながら、そこで得た情報を研究にも活かしたいです。

### 現在の仕事について教えてください。

名古屋大学の学生相談総合センターで、学生のカウンセリングを担当しています。「大学へ行く気がしない」「就職できるか不安だ」「友人とうまくつき合えない」など、学生のような様々な相談を受ける仕事です。じっくりと話を聞きながら、学生が「自分がどうしたいのか」気づききっかけを一緒に探します。カウンセリングは1度や2度では終わりません。1年生からずっと通う学生もいます。相談者が一歩踏み出せるまで寄り添い続けます。相談を卒業していく人を見るのが一番のやりがいです。「私と話してよかった」と思ってもらえる存在でいたいと思っています。

### 大学での経験は仕事で生かされていますか？

大学、大学院を通じて、臨床現場を体感する機会が何度もありました。精神病院や特殊学校での実習があり、大学院生の時にはメンタルクリニックで非常勤職員も務めました。もちろん、最初は相談者の方とのコミュニケーションに戸惑うばかりでしたが、今の仕事につながっています。臨床現場を経験していたから、今の職場にもスムーズに馴染むことができました。